

森林を守り、育て、次の世代へつなぐ



林業作業士(フォレストワーカー)

「木を切る」だけで終わらない
人と木をつなぐ仕事です

「林業」は木を切るだけと思われがちですが、森林を手入れしたり、建築に使われる材木を育てたりすることも大切な仕事です。長い時間かけて成長した木を切る際は、それを植えた先人の努力をむだにしないという気持ちで向き合っています。自分が切り倒した木が工場で加工され、製品に生まれ変わると林業は人と木をつなぐ仕事であることを実感します。現場で昼食を取ることも多いですが、山で食べるお弁当のおいしさは格別ですよ!



必要な資格・スキル、役に立った経験

- チェーンソー、刈払機などの操作資格
- 林業機材など重機車両の運転免許
- 子どもの頃からのスポーツ経験

こんな人に
向いています

- 自然が好き
- スポーツが得意
- 高いところが怖くない
- 植物を育てることが好き
- 人と協力して活動できる

この仕事についたきっかけ

10年前に見た映画で「林業」という職業を知りました。大きな1本の木が、どのような過程で育つか興味を持ちました。もともと自然が好きだったこともあり、6年前に未経験で林業の世界に入り基本を学びました。その後、今の会社に入りました。

入社5年目
大崎 海(オオサキ カイ)さん



お仕事の流れ



ミーティング

チームで活動するために、安全確認は欠かせません。荒れた天候でない限り、雨や雪の日でも現場へ向かうため、作業する山や現場ごとに注意しなければならないポイントを確認し合います。

機械のメンテナンス

作業ごとに使う機械はさまざま。機械のスイッチがきちんと入るか、オイルなどは足りているかなど、安全に使うための点検やメンテナンスを行います。

山での作業

植えられた木が立派に育つまでには約60年かかります。その間、草刈りや混み合った木を切る「間伐」など、木の成長過程に合わせて手入れをします。木を切り倒す「主伐」は緊張!

日報、事務作業

現場から会社に戻り、1日の作業を記録します。翌日の作業の打ち合わせ、天気予報のチェックなど、効率よく仕事が進められるように準備します。



▶造林(木を植えて林をつくる)事業

木を切り倒した後、山に残った枝葉を取り除いて整える「地ごしらえ」を行い、苗木を植えます。木が育つまでの間、木の成長をさまたげる草木を刈る「下刈り」、余分な枝を切り落とす「枝打ち」などを行い、森林の手入れをします。



▶木材加工品の販売

木造住宅用の木材や、建築の材料となる木材、土木工事などに使われる木材を販売しています。また、リフォーム事業なども手がけています。



▶製材・木材加工

切った木は皮をむき、住宅用、建築用など用途に応じて角材(四角形になっている木材)や板材(板状になった木材)などに加工します。



▶造園(庭や公園などをつくる)事業

公園の除草作業、樹木を美しく整えるための枝切り(せん定)や枯れた木の伐採、芝張りなど、宮城県内外から注文を受けて行っています。

「黒川森林まつり」を開催

森林の豊かな恵みを知ってもらうことを目的に、毎年「黒川森林まつり」を開催しています。地域のみなさんが参加し、丸太切り体験や木工教室は子どもにも人気。また、団体や個人による苗木を贈るなど、普段から緑化活動にも力を入れています。



職場ではこんな人も働いています

- 土木施工管理技士
- グリーンマイスター
- 総務・事務



大崎さんからの
メッセージ



黒川森林組合

黒川郡大和町落合松坂字直南沢39-23

TEL / 022-345-2203

創業 / 1990年5月1日

<https://www.kuroshin.or.jp/>

JForest
黒川森林組合

